

教科	国語	科目	国語総合	単位数	3	学年・コース	1年 総合・体育
教科書	『新 高等学校 国語総合』明治書院			担当者	庄司 剛・岩崎 瑠莉恵・ 和崎 祐美子・遠藤 明日香		
概要・ねらい	<p>文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。</p> <p>文学作品を通し、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。</p> <p>現代において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。</p>						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	3	《現代文》 『水の東西』山崎正和	<ul style="list-style-type: none"> 評論の文章について論理の展開や要旨を的確に捉える。 具体例や対比の表現などから筆者の主張を読み解く。 日本と西洋の水に対する感性の違いを表現に即して整理し、相違点を理解し、日本の心の特質をつかむ。 「コインは円形である」という例は、全体の論旨を展開する上でどのような効果があるかを理解する。 			
		6	《古文》 古文に親しむ 『児のそら寝』(宇治拾遺物語)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いの表記を意識しながら古文を繰り返し音読し、古文に慣れ親しむ。 古語の意味を確認しながら、誰が、何を、どのように、など、場面状況と登場人物の心情を正確に把握し、話の展開をたどる。 説話のおもしろさを読み味わう。 <p>(1学期中間考査)</p>			
		7	《現代文》 小説『羅生門』芥川龍之介	<ul style="list-style-type: none"> 短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴を的確につかむ。 登場人物の心理の変化を読み取る。 小説における虚構の役割をつかみ、表現上の技巧の効果を知る。 追い詰められた生存の状況の中でどんな選択がなされたかを老婆との会話から読み取り、その論理を整理する。 主人公のその後の運命について想像力を巡らして考える。 			
		5	《古文》 『奥山に猫またといふものありて』 (徒然草)	<ul style="list-style-type: none"> まとまった分量の古文を読むことによって、より古文に慣れ親しむ。 品詞や用言の活用について正しく理解する。 文法事項に注意しながら、正確な現代語訳をする。 文章の展開に即して作者のものの考え方や感じ方を読み取り、自分の感想や意見を述べる。 <p>(1学期期末考査)</p>			
		5	《現代文》 小説『清兵衛と瓢箪』志賀直哉	<ul style="list-style-type: none"> 短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむ。 登場人物の人物像や心情を的確に読み取る。 近代の代表的な小説を読んで、そのおもしろさ味わう。 			
	二学期	4	『マルジャーナの知恵』岩井克人	<ul style="list-style-type: none"> 評論の文章について段落相互の関係をつかみ、論理の展開を明らかにする。 「差異」が「情報」の本質だという主張を理解する。 資本主義の秘密と「差異」の関係を、歴史的な記述から明らかにする。 			
		6	《古文》 「旅立ち」「平泉」(奥の細道)	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し音読し、俳文の特徴的な文体に親しむ。 作品の内容を、構成や展開に即して理解する。 冒頭の文章を暗誦する。 人生と旅についての作者の考えを理解する。 文章と俳句が一体化した俳文の特色を理解し、読み味わう。 <p>(2学期中間考査)</p>			
		4	『感動を作れますか』久石譲	<ul style="list-style-type: none"> 評論の文章について論理の展開や要旨を的確に捉える。 現在を歴史の流れを背景にして認識する方法を学び、筆者の主張をつかむ。 「感性」「センス」「才能」について筆者の考え方を捉える。 			
		4	『世界中がハンバーガー』多木浩二	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化の世界史的な拡大を、食の均質化という具体的な現象に目を据えてつかむ。 文化について、自らの意見を持ち、現代社会のあり方について考察する。 			
		5	「芥川」(伊勢物語)	<ul style="list-style-type: none"> 章段の内容を構成や展開に即して的確に捉え、歌物語を読む楽しさを味わう。 物語の登場人物の状況をつかみ、作中の歌を物語の文脈に沿って解釈する。 <p>(2学期期末考査)</p>			
	三学期	6	《現代文》 『「思われる」と「考える」』外山滋比古	<ul style="list-style-type: none"> 評論の文章について論理の展開や要旨を的確に捉える。 日本語と英語との違いを知り、日本語に対する言葉の感覚を磨く。 無自覚に使う「思う」や「思われる」には、どのような意識が込められているかを知る。 「働く」の一般的な意味と筆者の言う意味との違いをつかむ。 			
		6	『働くことの意味』内田樹	<ul style="list-style-type: none"> 評論の文章について論理の展開や要旨を的確に捉える。 日本語と英語との違いを知り、日本語に対する言葉の感覚を磨く。 無自覚に使う「思う」や「思われる」には、どのような意識が込められているかを知る。 「働く」の一般的な意味と筆者の言う意味との違いをつかむ。 			
		8	《漢文》 漢文入門 故事	<ul style="list-style-type: none"> 訓読の決まり(返り点・送り仮名・基本句形・書き下し文)を理解するとともに、ある程度まとまった文章を理解する手順を身につける。 人生の知恵として現在も生きている格言、成句や故事の由来を理解するとともに、それが持つ意味を現代の生活との関わりで理解する。 <p>(学年末考査)</p>			
	履修上の注意						
ノート・iPadは必ず準備すること。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や状況に応じ、筋道を立てて話すことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出	行動観察 発言	ノートへの書き込み 定期考査	授業に取り組む姿勢 定期考査	定期考査 課題等の提出		

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4	学年・コース	1年 アカデミック	
教科書	『精選国語総合』東京書籍			担当者	岩崎 瑠莉恵			
概要・ねらい	国語を的確に理解し、適切に表現する能力を養い、伝え合う力を高める。作品内容から思考力を伸ばし、自分の心情を豊かにする。国語の言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。							
年間授業計画	一学期	配当時間	学習内容	評価基準				
		5	《現代文》 評論『水の東西』	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の文章について論理の展開や要旨を的確に捉え現代文読解の基本を学ぶ。 ・具体例や対比の表現などから筆者の主張を読み解く。 ・日本と西洋の水に対する感性の違いを表現に即して整理し、相違点を理解する。 ・筆者の言う「生物多様性」の意味を、身近なものとして読み取る。 ・「ドリトル先生」の例が、論の展開にどのように関わっているかを考える。 ・古語の意味を確認しながら、誰が、何を、どのように、などの場面状況と登場人物の心情を正確に把握し、話の展開をたどる。 ・用言の活用や係り結びを学び、古文解釈に文法知識が不可欠なことを学ぶ。 (1学期中間考査) ・短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴を的確につかむ。 ・登場人物の心理の変化を読み取る。 ・小説における虚構の役割をつかみ、表現上の技巧の効果を知る。 ・「美意識」がなぜ資源となりうるのか、筆者の主張を的確に捉える。 ・「美意識」をキーワードにして、筆者は国際的諸問題をどのように捉えているかを読み解く。 ・助動詞の働きに注意しながら、正確な現代語訳をする。 ・各章段から、文章の展開に即して作者のものの考え方や感じ方を読み取り、自分の感想や意見を述べる。 (1学期期末考査) 				
		5	評論『多様性は人間だけのものか』					
		5	《古文》 古文入門					
		5	宇治拾遺物語「児のそら寝」					
		7	《現代文》 小説『羅生門』					
		5	評論『美意識は資源である』					
		8	《古文》 徒然草 「奥山に猫またといふものありて」					
		二学期	5		《現代文》 小説『城の崎にて』	<ul style="list-style-type: none"> ・短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴を的確につかむ。 ・小説の多様なあり方を理解する。 ・小動物の観察を通じた心境の変化を読み取る。 ・具体例をもとに抽象化、一般化してものごとを考える姿勢を学ぶ ・「差異」が「情報」の本質だという主張を理解する。 ・作品の内容を、構成や展開に即して理解する。 ・冒頭の文章を暗誦する。 ・人生と旅についての作者の考えを理解する。 (2学期中間考査) ・評論の文章について論理の展開や要旨を的確に捉える。 ・具体例や対比の表現などから筆者の主張を読み解く。 ・論理的に思考する態度を学び、自分の考えを整理し、意見を出し合う。 ・都市と山村の「時間」の意味を対比的に捉え、人間と自然の関係を問い直す。 ・それぞれの章段の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・物語の登場人物の状況をつかみ、作中の歌を物語の文脈に沿って解釈する。 ・歌物語の世界を味わい、和歌と文とが融合した作品の美しさを理解する。 (2学期期末考査) ・虚構としての小説の実験的な方法に触れ、作品世界のもつ論理を読み取る。 ・「僕」の心理変化や行動を読み取ることによって、小説のおもしろさを味わう。 ・「僕」にとって「青」はどういうものだったかを考える。 ・「働く」の一般的な意味と筆者の言う意味との違いをつかむ。 ・具体的事例の表現効果を知る。 ・「働く」を「学ぶ」に置きかえ、その意味を筆者の論に沿って考える。 ・訓読の決まり(返り点・送り仮名・基本句形・書き下し文)を理解するとともに、ある程度まとまった文章を理解する手順を身につける。 ・人生の知恵として現在も生きている格言、成句や故事の由来を理解するとともに、それが持つ意味を現代の生活との関わりで理解する。 (学年末考査) 		
	4		評論『マルジャーナの知恵』					
	8		《古文》 「旅立ち」「平泉」(奥の細道)					
	5		《現代文》 『「分かる」とは何か』					
5	『時間をめぐる衝突』							
三学期	6	《現代文》 小説『青が消える』	<ul style="list-style-type: none"> ・虚構としての小説の実験的な方法に触れ、作品世界のもつ論理を読み取る。 ・「僕」の心理変化や行動を読み取ることによって、小説のおもしろさを味わう。 ・「僕」にとって「青」はどういうものだったかを考える。 ・「働く」の一般的な意味と筆者の言う意味との違いをつかむ。 ・具体的事例の表現効果を知る。 ・「働く」を「学ぶ」に置きかえ、その意味を筆者の論に沿って考える。 ・訓読の決まり(返り点・送り仮名・基本句形・書き下し文)を理解するとともに、ある程度まとまった文章を理解する手順を身につける。 ・人生の知恵として現在も生きている格言、成句や故事の由来を理解するとともに、それが持つ意味を現代の生活との関わりで理解する。 (学年末考査) 					
	6	評論『働くことの意味』						
	4	《漢文》 漢文入門						
		4	故事					
履修上の注意								
ノート・iPadは必ず準備すること。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。								
評価の観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や状況に応じ、筋道を立てて話すことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。			
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出	行動観察 発言	ノートへの書き込み 定期考査	授業に取り組む姿勢 定期考査	定期考査 課題等の提出			

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3	学年・コース	2年 総合・体育	
教科書	東京書籍「新編現代文B」		担当者	藤島 淳・岩崎 真吾・飯島 幸雄・遠藤 明日香・宮武 桃子				
概要・目標	近代以降の様々な文書を読むことを通して、読解力と思考力を養い、生徒の世界観を広げる授業を行う。また、自らの考えを論理的な文章で表現したり、他者に伝える力を身に付けるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する興味を深め、国語を尊重してその向上を図ることを目標とする。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	6	随想『こそそめスープ』	<ul style="list-style-type: none"> 筆者独自の「こそそめ」と「こそそめ」の意味の違いを考えている。 時間の経過に沿って変化する筆者の心情を理解している。 				
		8	小説『ナイン』	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える「自分の作りあげた異世界」について理解している。 作品の人物構成を理解し、主な人物の過去と現在の状況を踏まえながら、的確にまとめている。 「ナイン」のその後の姿を読み取り、登場人物の「当時」と「今」の変化を理解している。 最後の一文に着目し、「わたし」の行動を通して作者が伝えようとしたことを読み取っている。 				
	一学期	7	評論『生命とは何か』	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の述べている「生命の特徴」について理解している。 本文で述べられた不思議さの視点を理解し、自分の考察に応用している。 				
		7	評論『ふしぎということ』	<ul style="list-style-type: none"> 本文の各段で取り上げている事柄や問題について、的確にまとめている。 「自然科学」と「物語」の認識の違いを理解している。 				
		3	詩歌『一つのメルヘン』	<ul style="list-style-type: none"> 詩の形式と種類を全般的に押さえたうえで、ソネット形式について理解している。 「一つのメルヘン」という題名から作者がこの詩を通して表現したかったことを読み取っている。 				
	二学期	7	小説『山椒魚』	<ul style="list-style-type: none"> 井伏鱒二や「山椒魚」について基本的な情報を得て、小説の設定を把握している。 語句や表現に留意しながら、山椒魚の置かれた状況や心情を的確に捉えている。 作品の寓意について、自分の考えをまとめている。 				
		8	評論『思考の肺活量』	<ul style="list-style-type: none"> タイトルの意味を考えながら本文の内容を考察している。 「思考」のために必要な「肺活量」とはどういうものか理解している。 筆者の述べる、「思考」において「だいたいなこと」を理解している。 				
	二学期	6	随想『さくらさくらさくら』	<ul style="list-style-type: none"> 本文を通読し、全体を三つに分けて、各段の内容を要約している。 本文に見られる擬声語や擬態語、口語的表現の効果について考え、その表現の特色を捉えている。 				
		7	評論『安心について』	<ul style="list-style-type: none"> シュルツの言う「安心」の意味を的確に理解している。 「子どもにとつての安心」と「老人にとつての安心」との共通点を考えている。 				
3		働くよこび 『分からないから おもしろい』	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心理の動きを捉えている。 筆者の体験を通じて「働く」とはどういうことか考えながら本文を通読している。 筆者の仕事に対する思いを理解している。 					
三学期	15	小説『こころ』	<ul style="list-style-type: none"> 作品を深く読んで人間の精神のあり方、自己の生き方について考える。 友人Kとの関わりから生じる私の心の変化を場面展開に即してまとめる。 言葉の意味や表現に留意して文章を読み取り、表現効果や表現意図について考察する。 「私」から見た K の存在について理解している。 Kが「覚悟」という言葉をどのような意味で言ったかについて、考察する。 Kの自殺の理由について考え、話し合っている。 					
履修上の心得と注意								
学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。								
評価観点の種目と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることができる。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業に取り組む姿勢 ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 論作文作成及び提出 ワークシート ノート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む姿勢 ワークシート ノート 発言 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題等の提出 ワークシート ノート 			

教科	国語		科目	現代文B	単位数	4	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	東京書籍『精選現代文B』			担当者	岩崎 真吾			
概要・目標	近代以降の様々な文書を読むことを通して、読解力と思考力を養い、生徒の世界観を広げる授業を行う。また、自らの考えを論理的な文章で表現したり、他者に伝える力を身に付けるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する興味を深め、国語を尊重してその向上を図ることを目標とする。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準				
	一学期	20	(小説) 『藤野先生』 魯迅	<ul style="list-style-type: none"> 作者について興味を持っている。 ・物語のあらましを把握している。 「清国留学生」に対する私の印象を読み取っている。 「私」が東京を離れた理由と、仙台での「私」の待遇を読み取っている。 藤野先生に対する「私」の印象を読み取っている。 藤野先生の指導に対する「私」の思いを読み取っている。 試験問題漏洩事件の経過を読み取っている。 幻灯事件の経過と、それによる「私」の考えの変化を読み取っている。 「私」が仙台を去った理由と、「私」と別れる時の藤野先生の様子を読み取っている。 藤野先生に対する現在の「私」の思いと、現在の「私」の生き方について読み取っている。 現在の「私」にとって藤野先生との出会いが持つ意味を読み取っている。 <p style="text-align: right;">(1学期中間考査)</p>				
		20	(評論) 『相手依存の自己規定』 鈴木 孝夫	<ul style="list-style-type: none"> どんな時に「日本人らしさ」を意識するかを考えている。 段落ごとに取り上げられている題材や問題を理解している。 日本の学生とアメリカの学生の考え方の違いについてその内容を理解している。 日本人の自我の構造と人間関係の把握の様式を正確に読み取っている。 日本語における一人称代名詞・二人称代名詞の用い方を理解している。 日本型の相対的自己表現とヨーロッパ型の絶対的自己表現との違いを理解している。 それぞれの例で示されている日本人の自我の構造の特色を、欧米人と比較しつつ捉えている。 筆者の挙げる具体例と主張との関係に注意しながら、通読している。 『おじいさんのランプ』との関係を踏まえて筆者の考えを読み取っている。 具体例との関係を踏まえて、筆者の考えを読み取っている。 筆者の考えを具体例に即して読み取っている。 本文全体の趣旨をもとにして、第四段で語られている内容の含意を読み取っている。 筆者の主張を踏まえて本文のテーマに対する考えを深め、まとめている。 <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>				
	二学期	13	(評論) 『消費されるスポーツ』 多木 浩二	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとのテーマをつかんでいる。 「スポーツを消費する」という表現の意味するところを理解している。 スポーツ、特に野球やアメリカンフットボールが消費に向いている理由を理解している。 新聞・ラジオ・テレビのそれぞれがスポーツに与えた影響を読み取っている。 「商品」という語が「スポーツ」と「メディア」としての情報」を結び付けていると理解している。 メディアがさまざまな形でスポーツに影響を及ぼすようになったことを理解している。 「スポーツが社会を可視化する」という表現を、具体例に即して理解している。 「活動の総体」としての「社会」とア prioriに存在する「社会」の違いを理解している。 				
		15	(評論) 『であることとすること』 丸山 真男	<ul style="list-style-type: none"> 具体例と筆者の考えとを区別することを意識して本文を通読している。 表題の意味するものに気づいている。 ・例によって示された筆者の考えに気づいている。 筆者が述べる近代社会の特徴を理解している。 ・「である」社会の特徴を理解している。 「である」社会の道徳をコミュニケーションの面から理解している。 「である」社会から「する」社会への推移の過程を理解している。 価値基準の変革の意味を福沢諭吉の引用を通して理解している。 「する」価値への急速な転換の悪い面に気づいている。 「である」価値が重要な分野に気づいている。 ・「倒錯」の内容を理解している。 具体例によって説明された筆者の考えを理解している。 ・筆者の論述の流れを理解している。 <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p>				
		24	(小説) 『山月記』 中島 敦	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景やその中の作者の立場を踏まえて現代と比較している。 語り手が変化していることを踏まえて場面を分けている。 李徴が虎になった経過を読み取っている。 ・難語句を自ら探して積極的に調べている。 虎になった理由を李徴がどう自己分析しているか読み取っている。 詩をめぐる李徴と袁俸の思いを読み取っている。 李徴の心情を、人間一般に関わる問題として読み取っている。 別れに際して、虎になった理由の自己分析がどのように変化したかを読み取っている。 作品の主題について考えている。 <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>				
三学期	30	(小説) 『こころ』 夏目 漱石	<ul style="list-style-type: none"> 作者・作品に興味を持っている。 ・登場人物の性格をつかんでいる。 通読することで物語の展開を捉えている。 長文の教材の話の流れを把握し段落分けし各段落の内容を簡潔に表現している。 登場人物の心理の動きを捉えている。 ・「私」から見たKの存在について理解している。 「私」がKに対して積極的になる転機を理解している。 本文と関わり図の関係を把握している。 ・Kに対する「私」の心理の動きを分析している。 「私」の決心のきっかけを理解している。 主題の中心となる重要な語句を把握している。 ・物語の構造を捉えている。 <p style="text-align: right;">(学年末考査)</p>					
履修上の心得と注意								
学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい。(各学期ごとに検査を行う)また、課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じて筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることができる。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ワークシート ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート ・発言	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート			

教科	国語	科目	現代文B	単位数	4	学年・コース	2年 アカデミック理系
教科書	東京書籍「精選 現代文B」			担当者	庄司 剛		
概要・目標	様々なカテゴリーの文章を読むことによりその中に展開される世界や日本の歴史に触れ、人間としてのバイタリティーを豊かにする授業を行う。また多様な表現に接して語彙を増やし、他とのコミュニケーションを円滑に行えるようにすることや、日本語の言語感覚を磨き思考力を豊かにすることに重点を置き、言語文化に対する関心を深めることを目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
	一学期	5	評論「世界をつくり替えるために」	学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。			
		5	小説「山月記」	比喩表現の意味を理解し、論の起点となる内容を読み取る。			
		5	評論「相手依存の自己規定」	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。			
		5	評論「科学的『発見』とは」	作者について予備知識を持ち現代社会の状況と同じ点、違う点について考える。			
		5	小説「旅する本」	具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造を考える。			
		5	評論「おじいさんのランプ」	評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉え理解し、考察する。 (1学期中間考査)			
	二学期	8	小説「こころ」	評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉え理解し、考察する。 (1学期中間考査)			
		4	評論「読み書きする身体」	本文中の二つの課題を体験して読み、科学的視点とその意義を理解する。			
		4	評論「消費されるスポーツ」	口絵「白紙委任状」の絵を見て、見え方について感じたことを話し合う。			
		5	評論「人間の運命と科学」	「旅する本」という表現に込められた寓意を把握し考察を広げる。			
		5	小説「藤野先生」	学習の前後で感想がどのように変わったか話し合う。			
5		評論「日本人の美意識」	情報化社会を題材とする複数の評論を読み、視野を広げる。 話題と主張の関係に着目し、時代とともに変わる本の在り方について考える。 (1学期期末考査)				
三学期	5	評論「『である』ことと『する』こと」	小説の登場人物や内容を把握し、場面ごとの描写から人物の心情を読み取る。				
	5	小説「蠅」	Kの発言や行動により変化する「私」の心情と、その推移を読み取る。				
	5	評論「地図の想像力」	夏目漱石の文学・思想について学び、理解を深める。				
履修上の心得と注意			学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。				
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。		
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート	・定期考査 ・課題等の提出 ・ノート		

教科	国語	科目	古典	単位数	2	学年・コース	2年 総合/選択者
教科書	『新編古典B』 東京書籍		担当者	藤島 淳			
概要・ねらい	それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。また、1年次までの学習をふまえ、文法力、語彙力、読解力等を深めつつ、作品に主体的に取り組むことができる力を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	3	1年次の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学んだ文法事項を理解できているか。 			
		3 5	《説話》『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」 『十訓抄』『大江山の歌』	<ul style="list-style-type: none"> ・用言、助動詞の用法、敬語を理解できたか。 ・説話の内容を理解できたか。 <p style="text-align: right;">(1学期中間考査)</p>			
	二学期	4 4	《日記》『土佐日記』『馬のはなむけ』 『更科日記』『門出』	<ul style="list-style-type: none"> ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 ・日記の内容を的確に捉えているか。 <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>			
5 10		《漢詩》 唐詩一九首 《小説》 『史記』『鴻門之会』	<ul style="list-style-type: none"> ・近代詩の決まりを理解できたか。 ・本文を正しく書き下し、句法を理解し正しく現代語訳できたか。 <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく訓読した上で、内容、登場人物を理解できたか。 ・登場人物の人間関係、それぞれの特徴を正しく捉えたか。 <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>				
三学期	5	《軍記物語》 『平家物語』『壇ノ浦の合戦』	<ul style="list-style-type: none"> ・平家物語特有の文章のリズム、語調を感じることができたか。 ・文法的な裏づけのもと、内容を理解できたか。 <p style="text-align: right;">(学年末考査)</p>				
履修上の注意							
ノートは必ず準備すること。(各学期ごとに検査を行う) また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場면을想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。		文章の内容を文法的な力を身につけることを中心に的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。		語彙・文語文法・文学史等について正しい知識と力をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢		授業に取り組む姿勢 課題等の提出		定期考査 課題等の提出		

教科	国語	科目	古典	単位数	3	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	『精選古典B 古文編 漢文編』東京書籍		担当者	藤島 淳			
概要・ねらい	それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。また、2年次までの学習をふまえ、文法力、語彙力、読解力等を深めつつ、作品に主体的に取り組むことができる力を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	4 4 4	《説話》『宇治拾遺物語』「小野篁、広才のこ 『古今著聞集』「能は歌読み」 『唐物語』「割り持ちたる鏡」	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学んだ文法事項をもとに口語訳できるか。 ・用言、助動詞の用法、敬語を理解できたか。 ・説話の内容を理解できたか。 <p>(1学期中間考査)</p>			
		4 4 4	《物語》『伊勢物語』「初冠」 《随筆》『枕草子』「中納言参り給ひて」 《日記》『更級日記』「門出」	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の展開を正しく理解できているか。 ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 ・女流日記文学の概要について理解できたか。 <p>(1学期期末考査)</p>			
	二学期	8 8	《軍記物語》 『平家物語』「忠度の都落ち」 『平家物語』「壇ノ浦の合戦」	<ul style="list-style-type: none"> ・平家物語特有の文章のリズム、語調を感じることができたか。 ・文法的な裏づけのもと、内容を理解できたか。 <p>(2学期中間考査)</p>			
8 8		《物語》 『源氏物語』「光源氏の誕生」 『源氏物語』「若紫」	<ul style="list-style-type: none"> ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 ・登場人物の人間関係、それぞれの特徴を正しく捉えたか。 <p>(2学期期末考査)</p>				
三学期	5 5	《随筆》 『方丈記』「安元の大火」 『徒然草』「花は盛りに	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の主張を本文に即して理解できたか。 ・作者の美意識や感性を理解できたか。 <p>漢文の分野に関しては、各講習にて行います。</p> <p>(学年末考査)</p>				
履修上の注意							
ノートは必ず準備すること。(各学期ごとに検査を行う) また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。		文章の内容を文法的な力を身につけることを中心に的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。		語彙・文語文法・文学史等について正しい知識と力をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢		授業に取り組む姿勢 課題等の提出		定期考査 課題等の提出		

教科	国語	科目	国語演習	単位数	2	学年・コース	2年 体育
教科書	桐原書店『現代文アチーブ2』		担当者	飯島 幸雄・門倉 高之・宮武 桃子			
概要・目標	読解力・記述力・要約力を養成し、現代文の基礎的知識を高める。文章の要約を中心に行い、演習問題を解きながら漢字・語彙の確認を行う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
	一学期		評論・随想・小説・俳論 ・驚田清一 ・松村寿輝 ・群ようこ ・小林紀勢 ・米原万里 ・加藤幸子 ・河野哲也 ・寺田寅彦 ・南木佳士 ・加藤楸邨	※各学期共通 ・文章を読み解く基礎的な力を身に付けるために、漢字・語彙の確認や段落要旨など問題を解く前の知識を固める。また、評論だけではなく、様々なジャンルの文章を演習することで文章力を身に付ける。 1. 読解力を養成する ・論理的に読むための着眼点を学習する。 ・意味段落に分け、文章構成を意識して読む。 ・場面・人物・心情をつかむ。 ・漢字・語彙の基礎的知識を確認する。 2. 記述力を養成する ・設問の意図や本文のどこに着目するか理解する。 ・各設問で、正解に導くための注目点を確認する。 ・問いかけに合うよう自分で文章をまとめる力をつける。 3. 要約力を養成する ・要約ノートを用い、演習前に要約を行う。			
	二学期		評論・随想・小説・俳論 ・北杜夫 ・内山節 ・永井龍男 ・山田真茂留 ・内田樹 ・芥川龍之介 ・坂口安吾 ・沼野充義 ・乃南アサ ・武満徹				
	三学期		評論・随想・小説・俳論 ・本田和子 ・龔尚中 ・多和田葉子 ・伊藤整 ・川田順造 ・港千尋 ・福永武彦 ・田中克彦 ・渡辺裕 ・吉見俊哉 確認問題100本ノック				
履修上の心得と注意							
<ul style="list-style-type: none"> 必ず要約を行ってから演習に取り組むことで、要約力をつける。 予習復習を行い、意味調べなど積極的に取り組む。 答え合わせの際は、結果だけではなくその過程を重視し、正解率を高める。 							
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	様々な問題に対応するために積極的に問題に取り組む。	・論理的に読むための着眼点を学び、習得する。 ・主題をとらえる力を養う。	文章の要約を行うことで、構成がしっかりとした文章を書く力を身につける。	・解法に関する質疑応答をすることで解答力と理解力を高める。	頻度高く出てくる語句は、確認することで文章理解に役立つ知識を身につける。		
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・問題演習	・定期考査 ・問題演習	・授業に取り組む姿勢	・定期考査 ・課題等の提出 ・問題演習		

教科	国語	科目	現代文B	単位数	総合4/体育3	学年・コース	3年 総合・体育
教科書	三省堂『精選現代文B』		担当者	岩崎 瑠莉恵・青田 竜童・宮武 桃子・門倉 高之 和崎 祐美子・遠藤 明日香・藪田 和弘			
概要・目標	評論では、問題提起・論理の展開・筆者の主張や価値観を正確につかむことに留意すること。また、その過程で不可欠な語彙能力の向上に努めること。小説では、1・2年次で読んだ作品と比較してドラマチックとはいえない抽象的ともいえる展開に留意して、主人公の心情把握につなげること。						
年間授業計画	一学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
		《評論》 『日本文化の雑種性』 加藤周一	《小説》 『鞆』 安部公房	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化の雑種性と純粹文化運動について整理する ・文化の雑種性の積極的意味についてとらえる ・「鞆」を持った二人に共通する行動から、虚構の力が矛盾に満ちた人間の現実について考える <p style="text-align: right;">(1学期中間考査)</p>			
	《評論》 『わかりやすいはわかりにくい?』 鷺田清一	《評論》 『南の貧困/北の貧困』 見田宗介	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の述べる「思考」と「肺活量」との関係を考える ・貨幣経済を尺度とする社会が生み出す、「南の貧困」の本質をとらえ、ほんとうの「豊かさ」について考える <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>				
	二学期	《評論》 『身体(の)疎外』 黒崎政男	《評論》 『病と科学』 柳澤桂子	<ul style="list-style-type: none"> ・「精神」と「身体」のかかわり方の変遷を整理し、筆者の考える「現代」のあり方をとらえる ・科学的な観点での病気をとらえることによっておきた変化をふまえ、医学・医療の問題点について考える <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p>			
		《評論》 『虚ろなまなざし』 岡真理	《評論》 『無常ということ』 小林秀雄	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマニズムという言葉で語られる行動の主体化の功罪について考える ・筆者が否定している考えについて理解する ・筆者の個性的といわれる文体にふれる <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>			
	三学期	3学期は授業を行いません。					

履修上の心得と注意

学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要がある。授業の進行方法ごとに必要な課題に取り組むこと。なお、説明的文章を多く採用したのは、推薦・AO入試対策として、論理的な文章表現力の向上が不可欠であることが理由なので、語彙や論理の展開の把握には特に留意すること。

評価観点の趣旨と評価方法

各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞きの確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ワークシート ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート

教科	国語	科目	現代文B	単位数	4	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	三省堂「高等学校現代文B」		担当者	宮武 桃子			
概要・目標	近代以降の様々な文書を読むことを通して、読解力と思考力を養い、生徒の世界観を広げる授業を行う。また、自らの考えを論理的な文章で表現したり、他者に伝える力を身に付けるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する興味を深め、国語を尊重してその向上を図ることを目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
	一学期	6	評論『ぬくみ』	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などを理解する。 「自由」な社会において失われた「ぬくみ」を求める現象の背景を整理する。 筆者が述べる「相互性」と「想像力」との関係を考える。 一枚の写真とそれを巡るできごとに対する筆者の問題意識を把握しながら読む。 強調や余韻の表現効果を感じ取り、理解する。 ヒューマニズムという言葉で語られる行動の主体化の功罪について考える。 	(1学期中間考査)		
		8	評論『虚ろなまなざし』				
	一学期	7	小説『捨てない女』	<ul style="list-style-type: none"> 比喩や独特の表現描写から「わたし」の考えを読み取る。 この小説において「ゴミ」とはどのような存在か考える。 段落構成を明らかにして、その展開や要旨を捉える。 筆者の主張を的確に要約する。 詩を効果的に朗読したり、それを聞きながら情景を的確にとらえる。 詩の中のことばを手掛かりにして、それぞれの詩にこめられた作者の思いを理解する。 	(1学期期末考査)		
		7	評論『身体(の)疎外』				
3		詩歌『湖水』					
二学期	8	小説『鞆』	<ul style="list-style-type: none"> 青年が半年も前の求人に応募してきた理由を理解する。 「鞆」を持つことによって「私」の考え方にどのような変化があったのかを考える。 この小説が投げかけている問題について自分の考えをまとめる。 筆者の問題意識を捉え、文章の論点を性格に把握する。 「疑似群衆」の示す意味について考え、具体的な社会現象と関連付ける。 「待機する群衆」がもたらす未来について熟考し、自分との関わりについて考える。 	(2学期中間考査)			
	9	評論『疑似群衆の時代』					
	8	小説『檸檬』					<ul style="list-style-type: none"> 「私」の内面やそれを託した「物」にこめられた意味を小説の展開に即して理解する。 小説を自己問題に引きつけて味わう姿勢を養い、自己について考えを深める。 一人称の回想形式に注意し、語り手の「私」の前景化する部分を的確に捉える。 文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。 日本文化の雑種性と純粋化運動について理解する。 報道の文章の意図と特徴を理解する。 報道の文章における構成に基づいて自らの手で報告内容を編集することができる。
9	評論『日本文化の雑種性』						
5	表現と実用の文章『報道の文章』						
三学期			3学期は授業を行いません。				
履修上の心得と注意							
学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい。(各学期ごとに検査を行う)また、課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。							
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることができる。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業に取り組む姿勢 ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 論作文作成及び提出 ワークシート ノート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む姿勢 ワークシート ノート 発言 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題等の提出 ワークシート ノート 		

教科	国語		科目	現代文B	単位数	3	学年・コース	3年 アカデミック理系
教科書	三省堂「高等学校 現代文B 改訂版」			担当者	青田 竜童			
概要・目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	6	評論『ぬくみ』 鷲田 清一	<ul style="list-style-type: none"> ・「自由」な社会において失われた「ぬくみ」を求める現象の背景を、論理展開に沿って整理する。 ・筆者が述べる「相互性」と「想像力」との関係を考える。 				
		8	評論『虚ろなまなざし』 岡 真理	<ul style="list-style-type: none"> ・一枚の写真とそれを巡るできごとに対する筆者の問題意識を把握しながら文章を読む。 ・ヒューマニズムという言葉で語られる行動の主体化の功罪について考える。 ・強調や余韻の表現効果を感じ取りながら読み進める。 				
		7	評論『身体(の)疎外』 黒崎 政男	<ul style="list-style-type: none"> ・近代哲学の出発点をデカルトの「われ思う故にわれあり」に設定して「私」の捉え方を歴史的に分析していく筆者の論旨を追う。 ・筆者がこの評論で指摘する、現代の「バイオメトリクス認証」や脳科学の発展における問題点について考える。 				
		7	評論『陰翳礼讃』 谷崎 潤一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が述べる日本の漆器・料理の魅力を、具体例に即して理解する。 ・特徴的な表現を探し、五感を駆使し、読者の共感を誘う筆者の工夫を理解する。 ・本評論をきっかけに、「日本文化」や「日本文化論」について考察し、自分なりの考えを持つ。 				
					(1学期中間考査)			
二学期	9	評論『疑似群衆の時代』 港 千尋	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の問題意識を捉え、文章の論点を正確に把握する。 ・筆者の主張を正確に捉えるとともに、明示されない筆者の価値観について推論する。 ・「疑似群衆」の示す意味について考え、具体的な社会現象と関連付ける。 					
	8	小説『鞆』 安部 公房	<ul style="list-style-type: none"> ・青年が半年も前の求人に応募してきた理由を理解する。 ・「鞆」を持つことによって「私」の考え方にどのように変化があったかを考える。 ・この小説が投げかけている問題について、自分の考えをまとめる。 					
	9	評論『日本文化の雑種性』 加藤 周一	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化の雑種性と純粋化運動について理解する。 ・文化の雑種性の積極的意味について考える。 ・筆者のぶれることのない思考の中にある現代性を読み取る。 					
	8	小説『檸檬』 梶井 基次郎	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」の内面やそれを託した「物」にこめられた意味を小説の展開に即して理解する。 ・一人称の回想形式に注意し、語り手の「私」の前景化する部分を的確に捉える。 ・人物の内面に言葉で形を与えていく表現の特色を理解する。 					
				(2学期中間考査)				
三学期	3学期は授業を行いません。							
履修上の心得と注意								
授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい(各学期ごとに検査を行う)。課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。また、自らの考えを文字にするという課題を授業内で多く実施します。文章を書く習慣を身に付けるためにも、書くことを嫌がらずに積極的に取り組んで下さい。								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることができる。	構成・文法を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ワークシート ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート ・発言	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート			

教科	国語		科目	古典演習	単位数	2	学年・コース	3年 総合文系
教科書	三省堂「精選 古典B 改訂版」			担当者	藪田 和弘・青田 竜童・飯島 幸雄			
概要・目標	古典を読むことでものの見方や感じ方、考え方を広げる。また、理解や関心を深めることで自らの人生を豊かにする姿勢を育む。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	10	源氏物語 「明石の石の古松」	<ul style="list-style-type: none"> 源氏物語の中の複雑な人間関係を把握した上で、登場人物の心情がどのように表現されているかを読み取る。 当頼もる朝の風景に明石の石の心境が融り込んでいる叙述の特徴を把握する。 姫君との別離に苦しむ明石の君、その親心を気遣いながらも姫君の将来を思う光源氏はそれぞれどんな思いを抱いているのかを理解する。 母親と離れる明石の姫君の様子は、どのように描かれているかを読み取る。 古文読解に必要な基本語彙を確認し、用言や助詞・助動詞を含めた文法事項を総合的に理解する。(1学期中間考査) 				
		10	大鏡 「三舟の才」	<ul style="list-style-type: none"> 語り手の語りを、第三者が記述するというこの作品の基本的な構造に留意して作品を読む。 語りの内容を歴史的事実と対比し、この時代特有の世界観、思考法について理解を深める。 敬語法などに注意して、登場人物の考え方、心情、人間関係を把握し、物語の主題に迫る。 藤原公任の才を讃えるエピソードとしてこの話を捉えるだけでなく、その裏にある藤原道長の絶対的な支配力という権力構造をも読み取る。(1学期期末考査) 				
	二学期	10	思想 「荀子、老子、荘子」	<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまりに従って、正確に本文を読めるようにする。 2学年時に学んだ孟子とは異なり「性悪」を主張する荀子がなぜそのような結論に至ったかを読み取る。 「性悪」説がどのような人間観かを読み取る。 老子の主張の特色、論じ方の特色を把握する。 荘子の「曳尾於塗中」「渾沌」の話が何を説こうとしているかを把握する。(2学期中間考査) 				
		10	史記 「四面楚歌」 「項王最期」	<ul style="list-style-type: none"> 「四面楚歌」がどのような状況か把握する。 詩中に込められた項羽の心情を把握する。 「四面楚歌」について、現在使われている意味を確認する。 烏江を渡らなかつた項王の心情を把握する。 項王の最期の様子と心情を把握する。(2学期期末考査) 				
三学期			3学期は授業を行いません。					
履修上の心得と注意								
授業を受ける際には必ずノートを用意し、きれいに板書を写すこと。各学期ごとにノートを確認するが、その時に乱雑な字や誤字脱字が多い場合は評価をしないものとする。また、積極的に授業を受ける姿勢を高く評価したいと考えている。わからない所や疑問があった時に積極的に質問ができるような雰囲気づくりをしてほしい。								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度			読む能力		知識・理解		
評価観点趣旨	古典を読む力を進んで育てるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み姿勢 予習・復習と課題の提出 			<ul style="list-style-type: none"> 応答と発問 予習・復習と課題の提出 		<ul style="list-style-type: none"> 小テスト・定期考査の成績応答と発問 応答と発問 予習・復習と課題の提出 		

教科	国語	科目	古典	単位数	3	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『高等学校 古典B 古文編 漢文編』三省堂		担当者	藤島 淳			
概要・ねらい	それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。また、2年次までの学習をふまえ、文法力、語彙力、読解力等を深めつつ、作品に主体的に取り組みことができる力を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	4 4	《説話・物語》 『枕草子』「木の花は」「かたはらいたきもの」 『源氏物語』「明石の君の苦悩」	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆の内容を正しく理解できたか。 ・用言、助動詞の用法、敬語を理解できたか。 			
		5 5	《物語》『大鏡』「東風吹かば」 『栄花物語』「今さらのご対面」	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的価値を理解できたか。 ・登場人物の人間関係を正しく理解できたか。 (1学期中間考査)			
		6 6	《日記》『紫式部日記』「秋のけはひ」 《評論》 『玉勝間』「師の説と違へること多く」	<ul style="list-style-type: none"> ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 ・日記、評論の内容を的確に捉えているか。 (1学期期末考査)			
二学期	10	《漢詩》 長恨歌	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく訓読した上で、内容、登場人物を理解できたか。 ・訓読、句法を正しく理解できたか。 				
	8	《評論》『風姿花伝』「秘すれば花」	<ul style="list-style-type: none"> ・世阿弥の思想を正しく理解できたか。 (2学期中間考査)				
	9	《小説》 『住吉物語』「初夢の霊夢」 『しのびね』「嵯峨野わたり」	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人間関係を正しく理解できたか。 ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 (2学期期末考査)				
三学期			3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
ノートは必ず準備すること。(各学期ごとに検査を行う) また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場면을想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。		文章の内容を文法的な力を身につけることを中心的に的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。		語彙・文語文法・文学史等について正しい知識と力をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢		授業に取り組む姿勢 課題等の提出		定期考査 課題等の提出		

教科	国語		科目	国語演習	単位数	3	学年・コース	3年 総合・体育/選択者
教科書	『新版二訂 みるみる実力アップ現代文2』第一学習社 『新版二訂 みるみる実力アップ古文1』第一学習社		担当者	藪田 和弘・青田 竜童・門倉 高之				
概要・目標	<p>・現代文読解で重要なポイントを読み取り、書き込みをすることで論理的な理解をも促す。それを反復して行うことで習慣化させ、問題を解く際に活かせるようにする。</p> <p>・本文に書き込みながら文法、語句、主語や指示語をおさえる。また、丁寧に口語訳することで作品ごとの時代背景を捉え、古文を読む力を身につけていく。</p>							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	15	・現代文 1課～4課 ・古文 1課～4課	(現代文)・話題、問題提起、文章の展開、構成、筆者の主張をおさえることができたか。 ・漢字や語彙など新たな知識を学ぶことができたか。 (古文)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。 ・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。 ・重要語の意味、文法事項、文章の内容的な切れ目や省略された内容をおさえられたか。 ・会話や動作の主語、指示語がさす内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいこと、文体、修辞などの特徴をおさえることができたか。 (1学期中間考査)				
		15	・現代文 5課～8課 ・古文 5課～8課	(現代文)・話題、問題提起、文章の展開、構成、筆者の主張をおさえることができたか。 ・漢字や語彙など新たな知識を学ぶことができたか。 (古文)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。 ・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。 ・重要語の意味、文法事項、文章の内容的な切れ目や省略された内容をおさえられたか。 ・会話や動作の主語、指示語がさす内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいこと、文体、修辞などの特徴をおさえることができたか。 (1学期期末考査)				
	二学期	16	・現代文 9課～12課 ・古文 9課～12課	(現代文)・話題、問題提起、文章の展開、構成、筆者の主張をおさえることができたか。 ・漢字や語彙など新たな知識を学ぶことができたか。 (古文)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。 ・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。 ・重要語の意味、文法事項、文章の内容的な切れ目や省略された内容をおさえられたか。 ・会話や動作の主語、指示語がさす内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいこと、文体、修辞などの特徴をおさえることができたか。 (2学期中間考査)				
		16	・現代文 13課～16課 ・古文 13課～16課	(現代文)・話題、問題提起、文章の展開、構成、筆者の主張をおさえることができたか。 ・漢字や語彙など新たな知識を学ぶことができたか。 (古文)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。 ・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。 ・重要語の意味、文法事項、文章の内容的な切れ目や省略された内容をおさえられたか。 ・会話や動作の主語、指示語がさす内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいこと、文体、修辞などの特徴をおさえることができたか。 (2学期期末考査)				
	三学期		3学期は授業を行いません。					
履修上の心得と注意								
ワークに必ず書き込むこと(定期考査ごとに検査を行う)。また、問題演習がメインとなる授業のため、問題さえ解けばいいという態度を取る者に対しては厳しい指導、評価をするつもりなので真摯な態度で授業に臨むこと。								
評価視点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価視点趣旨	様々な分野の文章に対し積極的に理解しようという姿勢を持ち、読解、鑑賞を深めようとしている。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて話すことが。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。			
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・授業に取り組む姿勢 ・定期考査	・定期考査 ・ワークへの書き込み	・行動観察 ・発言	・定期考査 ・課題等の提出			

教科		国語		科目	国語演習	単位数	4	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書		「リテラ現代文1・2」「現代文単語ノート」文英堂			担当者	藪田 和弘			
概要・目標		評論・随想を中心に、国語総合レベルの入試に必要な解答力を着実に身につける。							
年間授業計画	一学期	18	リテラ 現代文 1 現代文単語ノート 評論・随想を中心に 1コマ1題を基本とする	※各学期共通 ・評論文を中心に選択・記述の問題をバランス良く演習することで読解力を高める。 1. 読む力をつける ・論理的に読むための着眼点を学習する。 ・意味段落に分け、文章構成を意識して読む。 ・場面・人物・心情をつかむ。 ・設問に解答後、問題文の要旨、要約を行う。 2. 解く力をつける ・設問の意図や本文のどこに着目するか理解する。 ・各設問で、正解に導くための注目点を確認する。 3. 語彙力をつける ・現代文単語ノートを用いて、語彙力を確認する。※小テストを実施	※各学期(中間考査) ※各学期(期末考査)				
		18	評論・随想を中心に 1コマ1題を基本とする						
	二学期	18	リテラ 現代文 2 現代文単語ノート 評論・随想を中心に 1コマ1題を基本とする						
		18	評論・随想を中心に 1コマ1題を基本とする						
	三学期					3学期は授業を行いません。			
履修上の心得と注意		<ul style="list-style-type: none"> ・問題数をこなすことで多角的に考察する力を養う。 ・予習復習を行い、意味調べなど積極的に取り組む。 ・答え合わせの際は、正解につながる着眼点などの過程を重視する。 							
評価観点の趣旨と評価方法									
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解				
評価観点趣旨	様々な入試問題に対応するために積極的に問題に取り組む。	・論理的に読むための着眼点を学び、習得する。 ・主題をとらえる力を養う。	文章の要約を行うことで、構成がしっかりとした文章を書く力を身につける。	・解法に関する質疑応答をすることで解答力と理解力を高める。	頻度高く出てくる語句は、確認することで文章理解に役立つ知識を身につける。				
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・問題演習	・定期考査 ・問題演習	・授業に取り組む姿勢	・定期考査 ・課題等の提出 ・問題演習				